

夏休み期間の自主練習メニュー

夏休み期間の自主練習メニューとなります。もし、家でも練習してみようと思う人は参考にして下さい。
なお、練習する曜日や時間帯については、必ず保護者の方と確認をして許可を得てから始めましょう。

基礎練習

① 呼吸

練習方法

- ・4拍かけて息を吸い、8拍のばす。くり返し。♩=62
- ・2拍で息を吸い、2拍で息をはく。くり返し。(曲中など短時間で息を吸う練習)

*息を吸うときに、肩が上がっていないか、体に変な力が入っていないか確認しながら練習。

前かがみになって腰を折ります。腰に手を当てて肺が膨れ上がっていくのが感じ取れたら OK!

腹式呼吸でちゃんと息が吸えている証拠です。

② 姿勢

体に力が入らず、楽器を吹くのに無理のない姿勢を意識する。

楽器をかまえた時、横から見た時、姿勢が悪くなっていませんか？猫背気味の方は、普段の生活の中から姿勢を意識してみましょう。姿勢がいいだけで音量も楽器の音色もどんどん変わってきます！

③ ロングトーン

練習方法

- ・4拍かけて息を吸い、8拍かけて息をはく。
- ・音がゆれないようにまっすぐのばす。
- ・チューナーを見ながら音程を合わせる。

*ロングトーンは、毎日欠かさず行うことによって音の安定感ができます。楽器を演奏するうえでの土台となります。チューナーを見て一つ一つの音の音程を確かめながら練習することによって、それぞれの音の特徴が見えてきます。この音を吹くときは高めにする、低めにする、アンブシュアをゆるめる、しめるなど、自分の音と向き合うことができる練習なので、毎日欠かさず取り組んでください。

④ スケール

練習方法

- ・スラーでなめらかに音をつなげて練習。
- ・タンギング・スタッカート・タッカなど、いろいろなリズムで練習。

*毎日違う調のスケール練習をします。ただただ吹くのではなく、大きな一つのまとまりをなめらかにきれいに吹くということに意識して練習しましょう。スラー、タンギング・スタッカート、いろいろなリズムでも練習してみるといいですね。

宝島

- ・小節番号、指番号ふる。強弱の意味を調べる。
- ・リズムが難しいので、とにかく音源を聴きまくる！！耳で覚えたほうが早い！！
- ・吹く前に声だけでリズムを言ってみる。※口でリズムを言えなくては楽器をつけても吹けません！
- ・まずはゆっくりのテンポから練習。あせらずゆっくり丁寧に。

- ・ドラム…手での16分音符に右足をしっかりと組み合わせる。
どこの手と足が重なるのかをしっかりと確認しながら練習。感覚だけで練習しないことが大事。

- ・管楽器…メロディ部分のアーテュレーションをしっかりと正確に。リズムも正確に吹けるようにする。
リズムがしっかりかみ合わないと宝島はカッコよく演奏がきまりません。
伴奏部分(和音など音をのばすところ)は、とにかく音程に気をつける。
土台の音程が安定しないと不安定な音楽に聴こえます。音程が合っていないなど思ったところは、ロングトーンで重点的に練習を。

- ・A.Sax…ゆっくりから練習。口でリズム練習をしてから楽器をつけて練習。
連符はリズムをかえて練習。(つまずきにくくなり、スムーズに吹けるようになる)。
アーテュレーションをしっかりとつけることによってメロディにも動きが見えてより引き立つ良い演奏になります。

※参考となりそうな音源を以下の項目で検索してみましょう。

参考音源の検索 宝島 少人数 吹奏楽 <<少人数吹奏楽>>宝島/T-SQUARE

ひまわりの約束

- ・小節番号、指番号ふる。強弱の意味、音楽用語について調べる。
- ・調号を見落とさないように。
- ・ソロ部分の多い曲です。6年生はしっかりとさらっておくようにしましょう。
- ・宝島に比べひまわりの約束はしっとりとした落ち着いた曲です。ゆっくりで静かな曲なので、音程等が際立って目立つ曲です。音程が気になる箇所は、注意して吹くということが目で分かるように印などつけておくようにしましょう。

- ・管楽器…フレーズのまとまりを意識して吹く。
フレーズの終わりの音が最後プツツと切ることがないように、終わりの音まで丁寧に。
歌の曲で音域が限られているので、強弱でしっかりとメリハリをつけて演奏する。

- ・打楽器…歌の曲で曲のふり幅が宝島と比べて少ないので、管楽器だけでは出せない華やかさ、盛り上がりを強弱の変化をしっかりとつけて色付けする。

※参考となりそうな音源を以下の項目で検索してみましょう。

参考音源の検索 ひまわりの約束 少人数 吹奏楽 <<少人数吹奏楽>>ひまわりの約束

Fanfare and furiosity

- ・小節番号、指番号ふる。強弱の意味、音楽用語について調べる。
- ・まずはしっかりと譜読みを！楽譜を目で追いながら音源をたくさん聴いておくようにしましょう。
- ・ファンファーレの曲なので、生き生きとした活気のある曲です。美しく響きのある大きな音量で演奏するためにも、基礎練習をしっかりと行いましょう！深いブレスで体に響かせて声を出すようなイメージで吹く。

※参考となりそうな音源を以下の項目で検索してみましょう。

参考音源の検索 Fanfare and furiosity TBS こども音楽コンクール

アンサンブル曲

※小品集の中の曲なので、音源のないもの、各楽器に編曲されていない音源がほとんどです。
参考となりそうな音源を以下の項目で検索してみましょう。

参考音源の検索

フルート… ハイドン セレナーデ フルート ハイドン:セレナーデ J.Haidn Serenade フルート神田勇哉

クラリネット…音源なし

サクソ…エーデルワイス 10sax Edelweissz[10sax]

ホルン…魔弾の射手序曲 ホルン 歌劇「魔弾の射手」序曲 ホルン5重奏版

トランペット… 海のマーチ D.T.ショー 海のマーチ 小林幹治作詞・D.T.ショー作曲 Ocean march

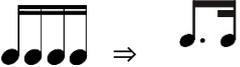
トロンボーン…峠の我が家 トロンボーン 峠の我が家 トロンボーン4重奏/久保太郎編曲

ユーホ・チューバ…野ばら ウェルナー

パーカッション 音源なし

○自主練習でやってみよう○

- ・アンサンブルの曲の譜読み。音程などしっかりと安定した音が吹けるようにまずはロングトーンをしっかりとしましょう。8月の練習でパートごとで少しずつ合わせていきます。それぞれ見て回るのので、それまでに吹けるように練習をしておけるといいですね。
- ・音源をたくさん聴いて新曲の譜読み。家でもできることをできる限り取り組んでみましょう。
- ・曲全体を通す練習だけではなく、部分練習を。できないところを何度も何度もくり返し練習。できるようになったら次のところへ進みましょう。

・連符がすべる、テンポ通りに吹けない…リズムをかえて練習。 など

・曲の中で分からないところや音やリズムなど分からないところがあれば、2学期になった時に原に聞けるようにメモなどにまとめておいてください！